○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／国内／債券
信託期間	無期限
主要投資対象	親投資信託である「しんきん国内債券マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券を主要投資対象とします。なお、直接公社債等に投資する場合があります。
運用方針	①安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 ②投資にあたっては、主としてマザーファンドの受益証券への投資を通じ、原則として以下の方針に基づき運用を行います。 ・「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとします。 ・投資対象とする公社債は、組入段階においていずれかの信用格付業者等からＢＢＢ格相当以上の長期信用格付を取得しているものとします。
主な投資制限	・株式への直接投資は行いません。 ・株式への投資は転換社債の転換および新株予約権付社債のうち会社法第236条第１項第３号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ３第１項第７号および第８号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）の行使により取得したものに限り、株式への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の５％以下とします。 ・外貨建資産への投資は行いません。
収益分配方針	・分配対象額は、経費等控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ・分配金額は、委託者が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないこともあります。

■運用報告書に関しては、下記にお問い合せください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
＜コールセンター＞ 0120-781812
（土日、休日を除く 9：00～17：00）携帯電話からは03-5524-8181

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書（全体版）

しんきん
国内債券ファンド

決算日
（第23期：2025年３月10日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきん国内債券ファンド」は2025年３月10日に第23期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
〒104-0031 東京都中央区京橋３丁目８番１号
https://www.skam.co.jp

目　　次

◇しんきん国内債券ファンド　　頁

最近５期の運用実績 …… 1

当期中の基準価額と市況等の推移 …… 1

第23期の運用経過等 …… 2

１万口当たりの費用明細 …… 5

売買及び取引の状況 …… 7

利害関係人との取引状況等 …… 7

第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況…… 7

自社による当ファンドの設定・解約状況 …… 7

組入資産の明細 …… 7

投資信託財産の構成 …… 8

資産、負債、元本及び基準価額の状況 …… 8

損益の状況 …… 8

分配金のお知らせ …… 9

◇参考情報

親投資信託の組入資産の明細 …… 10

◇親投資信託の運用報告書

しんきん国内債券マザーファンド …… 13

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額			ダイワ・ボンド・インデックス総合※		債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率	(ベンチマーク)	期中騰落率		
	円	円	%	ポイント	%	%	百万円
19期(2021年３月10日)	10,967	55	△2.3	528.359	△2.1	98.2	819
20期(2022年３月10日)	10,794	55	△1.1	524.707	△0.7	98.1	964
21期(2023年３月10日)	10,350	55	△3.6	507.534	△3.3	98.9	973
22期(2024年３月11日)	10,141	55	△1.5	501.941	△1.1	97.9	856
23期(2025年３月10日)	9,522	55	△5.6	476.152	△5.1	98.6	754

(注１) 基準価額の騰落率は分配金込み。
(注２) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

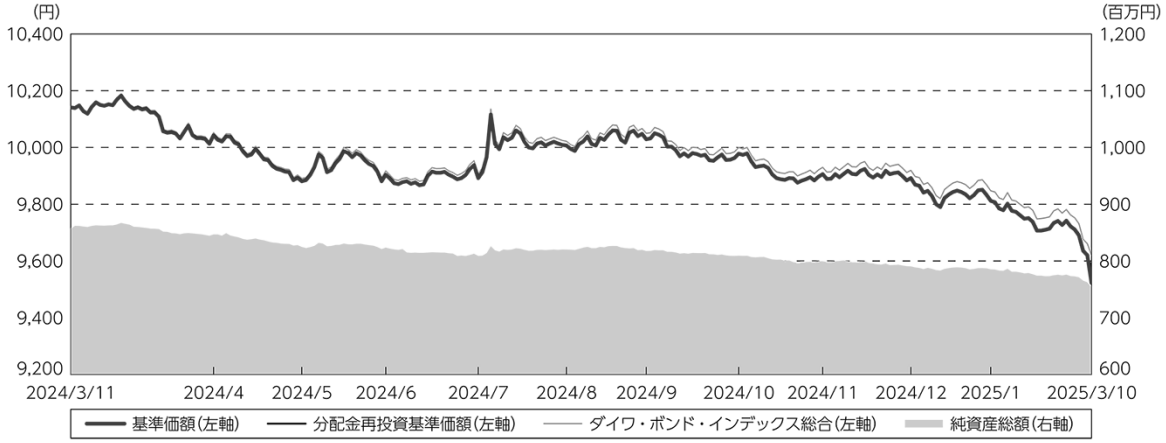
○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ダイワ・ボンド・インデックス総合※		債券組入比率
		騰落率	(ベンチマーク)	騰落率	
(期首)	円	%	ポイント	%	%
2024年３月11日	10,141	－	501.941	－	97.9
３月末	10,162	0.2	503.272	0.3	97.6
４月末	10,043	△1.0	497.541	△0.9	97.8
５月末	9,881	△2.6	489.572	△2.5	98.2
６月末	9,904	△2.3	490.863	△2.2	98.1
７月末	9,892	△2.5	490.338	△2.3	98.4
８月末	10,007	△1.3	496.044	△1.2	98.2
９月末	10,029	△1.1	497.435	△0.9	98.2
10月末	9,978	△1.6	494.967	△1.4	98.7
11月末	9,906	△2.3	491.493	△2.1	97.9
12月末	9,892	△2.5	490.969	△2.2	99.1
2025年１月末	9,812	△3.2	487.408	△2.9	99.2
２月末	9,742	△3.9	484.139	△3.5	98.8
(期末) 2025年３月10日	9,577	△5.6	476.152	△5.1	98.6

(注１) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注２) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。
※「ダイワ・ボンド・インデックス総合」とは、日本における確定利付債券市場のパフォーマンスを測定するように設計された指数で、株式会社大和総研が計算、公表しています。算出対象範囲が広く、日本の債券市場全体の動きを代表しています。債券価格の変動に加えて、日々のクーポン収入も加味されて算出されます。
※ダイワ・ボンド・インデックスに関する著作権等知的財産権は大和証券株式会社および株式会社大和総研に帰属いたします。なお、大和証券株式会社および株式会社大和総研は当ファンドの運用と何ら関係はありません。

○第23期の運用経過等（2024年３月12日～2025年３月10日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



（注１）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注２）分配金再投資基準価額およびダイワ・ボンド・インデックス総合は、期首（2024年３月11日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。
（注３）ベンチマークは、ダイワ・ボンド・インデックス総合です。

＜基準価額の主な変動要因＞

当ファンドは、「しんきん国内債券マザーファンド」を通じて、我が国の公社債に投資を行っています。
当期の基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

・2024年７月の米雇用統計が市場予想を下回る内容だったことから、米国経済が想定以上に減速するとの懸念が強まり米長期金利が大幅に低下したこと。

＜下落要因＞

・2024年３月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の解除を決定し、市場で年内追加利上げへの観測が高まったこと。
・12月と2025年１月の日銀金融政策決定会合で追加利上げの可能性が意識されたこと。

＜投資環境＞

(2024年３月～６月)

当期間の長期金利はおおむね上昇基調での推移が続きました。日銀は３月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除を決定し、市場で年内追加利上げへの観測が高まったことで、長期金利は上昇しました。さらに、５月中旬に日銀が５年超10年以下の国債買入れ額を減額したことや、底堅い景気を背景に早期の米利下げ観測が後退したことから、長期金利は一時1.1%と約13年ぶりの水準まで上昇しました。

(2024年７月～９月)

当期間の長期金利はおおむね0.8%～1.1%のレンジ内で推移しました。７月下旬、日銀が国債買入れを大幅に減らすとの思わくが広がったことや、政府要人による円安是正に向けて日銀に政策金利の引上げを求めたとみられる発言を受けて、長期金利は一時1.1%まで上昇しました。８月に入り２日に発表された７月の米雇用統計が市場予想を下回る内容だったことから、米国経済が想定以上に減速するとの懸念が強まり米長期金利が大幅に低下したことを受け、国内の長期金利は５日には0.7%半ばまで低下しました。その後は10年国債入札が不調だったことや、国内の４-６月期の実質国内総生産（ＧＤＰ）が２四半期ぶりのプラス成長となったことから長期金利は0.8%台での推移が続きました。

(2024年10月～2025年３月)

当期間の長期金利は、中東情勢への警戒や日銀が利上げに慎重との見方などから一時的に低下する局面もありましたが、おおむね上昇基調で推移しました。主な長期金利の上昇要因としては、米大統領選挙で共和党のトランプ氏の当選が確実となったことを受け、財政拡大やインフレ圧力を高める政策が進むとの見方から米長期金利が上昇したこと、2024年12月と2025年１月の日銀金融政策決定会合で追加利上げの可能性が意識されたこと、トランプ米政権の関税引上げにより、インフレ圧力が強まるとの思わくから米長期金利が上昇したこと、国内の賃金上昇が日銀の追加利上げを後押しするとの見方が広がったことや政策金利の最終到達点（ターミナルレート）が切り上がる可能性が意識されたことなどです。当期初0.7%台で始まった長期金利は、当期末には1.5%台での推移となっています。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

親投資信託である「しんきん国内債券マザーファンド」の受益証券への投資を行い、当期を通じて組入比率が高位となるように調整しています。

●しんきん国内債券マザーファンド

当期のベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）および債券種別構成の調整は、以下のように行いました。

①修正デュレーション（金利感応度）

当期を通じてベンチマーク対比中立で調整しました。調整範囲は、おおむねベンチマーク対比で△0.3～＋0.3年程度としました。

②債券種別構成

当期における国債以外の債券のウエイトについては、期を通じて、ほぼベンチマーク対比中立の範囲内で調整しました。

なお、決算日時点におけるポートフォリオの修正デュレーションは8.51年、最終利回りは1.57%となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率（分配金込み）は、△5.6%となりました。ベンチマークである「ダイワ・ボンド・インデックス総合」の騰落率の△5.1%を下回りました。この差は、主に信託報酬、追加設定・解約等の要因によるものです。

＜分配金＞

当期の収益分配金については、基準価額水準等を勘案して、1万口当たり55円（税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第23期 2024年3月12日～ 2025年3月10日
当期分配金	55
（対基準価額比率）	0.574%
当期の収益	14
当期の収益以外	40
翌期繰越分配対象額	1,254

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き、運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん国内債券マザーファンド」の受益証券に投資し、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。

●しんきん国内債券マザーファンド

「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとし、主として我が国の公社債に投資することにより、長期的に安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行うことを基本方針としています。

○１万口当たりの費用明細

（2024年３月12日～2025年３月10日）

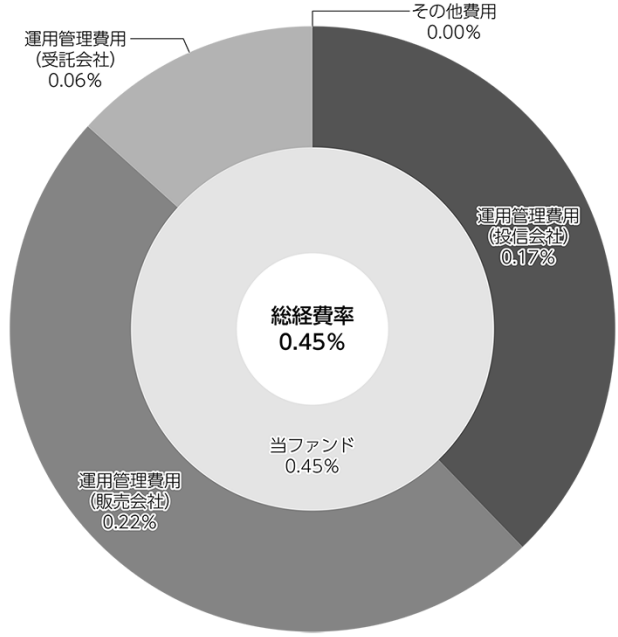
項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	44	0.439	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(16)	(0.165)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(22)	(0.219)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(5)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	0	0.003	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	44	0.442	
期中の平均基準価額は、9,937円です。			

（注１）期中の費用（消費税等の掛かるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注２）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注３）その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注４）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

（参考情報）

◯総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（１口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.45％です。



（注）当ファンドの費用は１万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
（注）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
（注）各比率は、年率換算した値です。
（注）当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。
（注）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2024年３月12日～2025年３月10日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
しんきん国内債券マザーファンド	－	－	44,789	56,000

（注）単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2024年３月12日～2025年３月10日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

（2024年３月12日～2025年３月10日）

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

（2024年３月12日～2025年３月10日）

該当事項はございません。

○組入資産の明細

（2025年３月10日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
しんきん国内債券マザーファンド	664,158	619,368	751,108

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年３月10日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
しんきん国内債券マザーファンド	751,108	98.5
コール・ローン等、その他	11,498	1.5
投資信託財産総額	762,606	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年３月10日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	**762,606,898**
コール・ローン等	11,498,122
しんきん国内債券マザーファンド(評価額)	751,108,666
未収利息	110
(B) 負債	**7,681,503**
未払収益分配金	4,360,506
未払解約金	1,579,273
未払信託報酬	1,730,724
その他未払費用	11,000
(C) 純資産総額(A－B)	**754,925,395**
元本	792,819,430
次期繰越損益金	△ 37,894,035
(D) 受益権総口数	**792,819,430口**
１万口当たり基準価額(C／D)	**9,522円**

(注１) 当ファンドの期首元本額は844,632,613円、期中追加設定元本額は68,543,651円、期中一部解約元本額は120,356,834円です。

(注２) １口当たり純資産額は0.9522円です。

○損益の状況 (2024年３月12日～2025年３月10日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	**7,666**
受取利息	7,890
支払利息	△ 224
(B) 有価証券売買損益	**△ 40,071,308**
売買益	2,118,331
売買損	△ 42,189,639
(C) 信託報酬等	**△ 3,600,689**
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	**△ 43,664,331**
(E) 前期繰越損益金	**△ 56,510,508**
(F) 追加信託差損益金	**66,641,310**
(配当等相当額)	(98,506,308)
(売買損益相当額)	(△ 31,864,998)
(G) 計(D＋E＋F)	**△ 33,533,529**
(H) 収益分配金	**△ 4,360,506**
次期繰越損益金(G＋H)	**△ 37,894,035**
追加信託差損益金	66,641,310
(配当等相当額)	(98,531,023)
(売買損益相当額)	(△ 31,889,713)
分配準備積立金	930,807
繰越損益金	△105,466,152

(注１) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注２) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注３) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注４) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (1,143,088円)、費用控除後の有価証券売買等損益額 (0.0円)、信託約款に規定する収益調整金 (98,531,023円) および分配準備積立金(4,148,225円)より分配対象収益は103,822,336円(10,000口当たり1,309円) であり、うち4,360,506円 (10,000口当たり55円) を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

１万口当たり分配金（税込み）	55円

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、決算日から起算して５営業日目までにお支払いを開始しています。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合せください。

（注１）分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」（受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分）があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金（特別分配金）」、残りの部分が「普通分配金」となります。

（注２）元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2025年３月10日現在）

＜しんきん国内債券マザーファンド＞

下記は、しんきん国内債券マザーファンド全体(7,864,012千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	9,169,000	8,131,288	85.3	－	61.4	14.0	9.9
地方債証券	450,000	438,475	4.6	－	1.5	1.0	2.1
	(450,000)	(438,475)	(4.6)	(－)	(1.5)	(1.0)	(2.1)
特殊債券(除く金融債)	200,000	200,940	2.1	－	2.1	－	－
	(200,000)	(200,940)	(2.1)	(－)	(2.1)	(－)	(－)
普通社債券(含む投資法人債券)	700,000	678,927	7.1	－	1.0	4.1	2.1
	(700,000)	(678,927)	(7.1)	(－)	(1.0)	(4.1)	(2.1)
合計	10,519,000	9,449,630	99.1	－	66.0	19.0	14.0
	(1,350,000)	(1,318,342)	(13.8)	(－)	(4.6)	(5.1)	(4.1)

(注１)（ ）内は非上場債で内書きです。
(注２) 組入比率は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の割合。
(注３) 単位未満は切り捨て。
(注４) －印は組み入れなし。
(注５) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第147回利付国債（５年）	0.005	180,000	178,817	2026/３/20
第148回利付国債（５年）	0.005	300,000	297,285	2026/６/20
第150回利付国債（５年）	0.005	120,000	118,264	2026/12/20
第163回利付国債（５年）	0.4	100,000	97,854	2028/９/20
第173回利付国債（５年）	0.6	110,000	107,372	2029/９/20
第９回利付国債（40年）	0.4	210,000	113,423	2056/３/20
第343回利付国債（10年）	0.1	350,000	347,252	2026/６/20
第346回利付国債（10年）	0.1	120,000	118,172	2027/３/20
第349回利付国債（10年）	0.1	150,000	146,587	2027/12/20
第352回利付国債（10年）	0.1	190,000	183,950	2028/９/20
第357回利付国債（10年）	0.1	100,000	95,115	2029/12/20
第358回利付国債（10年）	0.1	200,000	189,664	2030/３/20
第359回利付国債（10年）	0.1	89,000	84,141	2030/６/20
第360回利付国債（10年）	0.1	360,000	339,289	2030/９/20
第361回利付国債（10年）	0.1	370,000	347,537	2030/12/20

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第362回利付国債（10年）	0.1	350,000	327,631	2031/3/20
第363回利付国債（10年）	0.1	340,000	317,056	2031/6/20
第364回利付国債（10年）	0.1	210,000	195,127	2031/9/20
第370回利付国債（10年）	0.5	180,000	168,251	2033/3/20
第373回利付国債（10年）	0.6	180,000	167,499	2033/12/20
第25回利付国債（30年）	2.3	160,000	169,502	2036/12/20
第49回利付国債（30年）	1.4	190,000	161,528	2045/12/20
第50回利付国債（30年）	0.8	150,000	112,228	2046/3/20
第51回利付国債（30年）	0.3	100,000	66,093	2046/6/20
第55回利付国債（30年）	0.8	210,000	153,218	2047/6/20
第66回利付国債（30年）	0.4	100,000	61,820	2050/3/20
第69回利付国債（30年）	0.7	120,000	79,359	2050/12/20
第70回利付国債（30年）	0.7	230,000	151,250	2051/3/20
第71回利付国債（30年）	0.7	200,000	130,774	2051/6/20
第72回利付国債（30年）	0.7	110,000	71,621	2051/9/20
第75回利付国債（30年）	1.3	100,000	76,154	2052/6/20
第95回利付国債（20年）	2.3	50,000	51,590	2027/6/20
第98回利付国債（20年）	2.1	50,000	51,489	2027/9/20
第103回利付国債（20年）	2.3	150,000	156,334	2028/6/20
第110回利付国債（20年）	2.1	50,000	51,987	2029/3/20
第113回利付国債（20年）	2.1	50,000	52,111	2029/9/20
第114回利付国債（20年）	2.1	210,000	219,183	2029/12/20
第120回利付国債（20年）	1.6	50,000	51,093	2030/6/20
第134回利付国債（20年）	1.8	200,000	207,304	2032/3/20
第147回利付国債（20年）	1.6	120,000	121,495	2033/12/20
第151回利付国債（20年）	1.2	240,000	232,372	2034/12/20
第155回利付国債（20年）	1.0	210,000	196,429	2035/12/20
第156回利付国債（20年）	0.4	200,000	174,402	2036/3/20
第158回利付国債（20年）	0.5	140,000	122,214	2036/9/20
第161回利付国債（20年）	0.6	250,000	217,537	2037/6/20
第169回利付国債（20年）	0.3	150,000	119,425	2039/6/20
第172回利付国債（20年）	0.4	220,000	174,493	2040/3/20
第177回利付国債（20年）	0.4	300,000	230,445	2041/6/20
第178回利付国債（20年）	0.5	200,000	155,396	2041/9/20
第181回利付国債（20年）	0.9	330,000	270,702	2042/6/20
第182回利付国債（20年）	1.1	120,000	101,439	2042/9/20
小計		9,169,000	8,131,288	
地方債証券				
第756回東京都公募公債	0.05	100,000	99,009	2026/6/19
第857回東京都公募公債	1.152	150,000	143,604	2034/9/20
平成30年度第１回埼玉県公募公債	0.175	100,000	97,250	2028/4/18
平成28年度第６回福岡県公募公債	0.175	100,000	98,612	2026/12/22
小計		450,000	438,475	
特殊債券（除く金融債）				
第230回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.338	100,000	97,485	2034/10/31
第75回日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.96	100,000	103,455	2031/9/19
小計		200,000	200,940	
普通社債券（含む投資法人債券）				
第19回キリンホールディングス株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.09	100,000	98,961	2026/6/3
第13回日本たばこ産業株式会社社債（一般担保付）	0.355	100,000	96,659	2028/9/8
第2回三菱ケミカルグループ株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	1.18	100,000	94,876	2033/3/15
第3回大塚ホールディングス株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.375	100,000	96,010	2029/3/7
第14回株式会社ブリヂストン無担保社債	0.375	100,000	95,805	2029/4/19

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
第15回株式会社デンソー無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.245	100,000	98,039	2027/6/18
第38回三菱重工業株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.09	100,000	98,577	2026/9/1
小計		700,000	678,927	
合計		10,519,000	9,449,630	

（注）額面・評価額の単位未満は切り捨て。

運用報告書

親投資信託
しんきん国内債券マザーファンド

第23期
（決算日：2025年３月３日）

しんきん国内債券マザーファンドの第23期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
運用方針	①この投資信託は、主として我が国の公社債に投資することにより、安定した収益の確保および投資信託財産の着実な成長を目指して運用を行います。 ②「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとします。 ③投資対象とする公社債は、組入れ段階においていずれかの信用格付業者等からＢＢＢ格相当以上の長期信用格付を取得しているものとします。 ④国内企業およびそれに準じる発行体の発行するユーロ円建資産および外国企業の発行する円建資産・ユーロ円建資産を組み入れることがあります。 ⑤運用にあたっては、マクロ経済分析等のファンダメンタルズ分析、債券市場分析等をふまえて投資戦略を決定し、ポートフォリオの構築をはかります。
主要投資対象	我が国の公社債を主要投資対象とします。
投資制限	①株式への投資は行いません。 ②同一銘柄の転換社債、ならびに新株予約権付社債のうち会社法第236条第１項第３号の財産が当該新株予約権付社債についての社債であって当該社債と当該新株予約権がそれぞれ単独で存在し得ないことをあらかじめ明確にしているもの（以下会社法施行前の旧商法第341条ノ３第１項第７号および第８号の定めがある新株予約権付社債を含め「転換社債型新株予約権付社債」といいます。）への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ③投資信託証券への投資割合は、投資信託財産の純資産総額の５％以下とします。 ④外貨建資産への投資は行いません。

○最近５期の運用実績

決算期	基準価額		ダイワ・ボンド・インデックス総合※		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率	(ベンチマーク)	期中騰落率		
	円	%	ポイント	%	%	百万円
19期(2021年３月３日)	13,458	△2.1	528.923	△2.2	98.9	8,549
20期(2022年３月３日)	13,377	△0.6	525.429	△0.7	99.2	12,784
21期(2023年３月３日)	12,898	△3.6	506.361	△3.6	99.4	11,093
22期(2024年３月４日)	12,837	△0.5	503.823	△0.5	98.9	9,898
23期(2025年３月３日)	12,311	△4.1	483.195	△4.1	99.0	9,694

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ダイワ・ボンド・インデックス総合※		債券組入比率
		騰落率	(ベンチマーク)	騰落率	
(期首)	円	%	ポイント	%	%
2024年３月４日	12,837	－	503.823	－	98.9
３月末	12,822	△0.1	503.272	△0.1	99.2
４月末	12,674	△1.3	497.541	△1.2	99.2
５月末	12,473	△2.8	489.572	△2.8	99.1
６月末	12,506	△2.6	490.863	△2.6	99.0
７月末	12,495	△2.7	490.338	△2.7	99.1
８月末	12,646	△1.5	496.044	△1.5	99.1
９月末	12,679	△1.2	497.435	△1.3	99.1
10月末	12,618	△1.7	494.967	△1.8	99.1
11月末	12,531	△2.4	491.493	△2.4	98.5
12月末	12,517	△2.5	490.969	△2.6	99.4
2025年１月末	12,421	△3.2	487.408	△3.3	99.6
２月末	12,336	△3.9	484.139	△3.9	99.0
(期末)					
2025年３月３日	12,311	△4.1	483.195	△4.1	99.0

(注) 騰落率は期首比です。

※「ダイワ・ボンド・インデックス総合」とは、日本における確定利付債券市場のパフォーマンスを測定するように設計された指数で、株式会社大和総研が計算、公表しています。算出対象範囲が広く、日本の債券市場全体の動きを代表しています。債券価格の変動に加えて、日々のクーポン収入も加味されて算出されます。

※ダイワ・ボンド・インデックスに関する著作権等知的財産権は大和証券株式会社および株式会社大和総研に帰属いたします。なお、大和証券株式会社および株式会社大和総研は当ファンドの運用と何ら関係はありません。

○第23期の運用経過等（2024年３月５日～2025年３月３日）

＜当期中の基準価額等の推移＞

当ファンドは、「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとし、我が国の公社債に投資を行っています。

当期の基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

・2024年７月の米雇用統計が市場予想を下回る内容だったことから、米国経済が想定以上に減速するとの懸念が強まり米長期金利が大幅に低下したこと。

＜下落要因＞

・2024年３月の日銀金融政策決定会合でマイナス金利の解除を決定し、市場で年内追加利上げへの観測が高まったこと。

・12月と2025年１月の日銀金融政策決定会合で追加利上げの可能性が意識されたこと。

＜投資環境＞

（2024年３月～６月）

当期間の長期金利はおおむね上昇基調での推移が続きました。日銀は３月の金融政策決定会合でマイナス金利の解除を決定し、市場で年内追加利上げへの観測が高まったことで、長期金利は上昇しました。さらに、５月中旬に日銀が５年超10年以下の国債買入れ額を減額したことや、底堅い景気を背景に早期の米利下げ観測が後退したことから、長期金利は一時1.1％と約13年ぶりの水準まで上昇しました。

（2024年７月～９月）

当期間の長期金利はおおむね0.8％～1.1％のレンジ内で推移しました。７月下旬、日銀が国債買入れを大幅に減らすとの思わくが広がったことや、政府要人による円安是正に向けて日銀に政策金利の引上げを求めたとみられる発言を受けて、長期金利は一時1.1％まで上昇しました。８月に入り２日に発表された７月の米雇用統計が市場予想を下回る内容だったことから、米国経済が想定以上に減速するとの懸念が強まり米長期金利が大幅に低下したことを受け、国内の長期金利は５日には0.7％半ばまで低下しました。その後は10年国債入札が不調だったことや、国内の４－６月期の実質国内総生産（ＧＤＰ）が２四半期ぶりのプラス成長となったことから長期金利は0.8％台での推移が続きました。

（2024年10月～2025年３月）

当期間の長期金利は、中東情勢への警戒や日銀が利上げに慎重との見方などから一時的に低下する局面もありましたが、おおむね上昇基調で推移しました。主な長期金利の上昇要因としては、米大統領選挙で共和党のトランプ氏の当選が確実となったことを受け、財政拡大やインフレ圧力を高める政策が進むとの見方から米長期金利が上昇したこと、2024年12月と2025年１月の日銀金融政策決定会合で追加利上げの可能性が意識されたこと、トランプ米政権の関税引上げにより、インフレ圧力が強まるとの思わくから米長期金利が上昇したこと、国内の賃金上昇が日銀の追加利上げを後押しするとの見方が広がったことや政策金利の最終到達点（ターミナルレート）が切り上がる可能性が意識されたことなどです。当期初0.7％近辺で始まった長期金利は、当期末には1.4％台での推移となっています。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

当期のベンチマークに対する修正デュレーション（金利感応度）および債券種別構成の調整は、以下のように行いました。

①修正デュレーション（金利感応度）

当期を通じてベンチマーク対比中立で調整しました。調整範囲は、おおむねベンチマーク対比で△0.3～＋0.3年程度としました。

②債券種別構成

当期における国債以外の債券のウエイトについては、期を通じて、ほぼベンチマーク対比中立の範囲内で調整しました。

なお、決算日時点におけるポートフォリオの修正デュレーションは8.66年、最終利回りは1.42％となっています。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期における基準価額の騰落率は△4.1％となりました。ベンチマークである「ダイワ・ボンド・インデックス総合」の同期間の騰落率は△4.1％でした。

＜今後の運用方針＞

「ダイワ・ボンド・インデックス総合」をベンチマークとし、主として我が国の公社債に投資することにより、長期的に安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行うことを基本方針としています。

○１万口当たりの費用明細

（2024年３月５日～2025年３月３日）

項目	当期 金額	当期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) その他費用	0	0.000	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	0	0.000	
期中の平均基準価額は、12,559円です。			

（注１）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。
（注２）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第３位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

（2024年３月５日～2025年３月３日）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	1,441,551	1,222,089
	地方債証券	150,066	－
	社債券（投資法人債券を含む）	－	100,011

（注１）金額は受渡代金。（経過利子分は含まれていません。）
（注２）単位未満は切り捨て。
（注３）社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2024年３月５日～2025年３月３日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第１項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2025年３月３日現在）

国内公社債

（A）国内（邦貨建）公社債　種類別開示

区分	当期末						
	額面金額	評価額	組入比率	うちＢＢ格以下組入比率	残存期間別組入比率		
					５年以上	２年以上	２年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	9,169,000	8,270,226	85.3	－	61.8	13.8	9.7
地方債証券	450,000	440,986	4.5	－	1.5	1.0	2.0
	(　450,000)	(　440,986)	(4.5)	(－)	(1.5)	(1.0)	(2.0)
特殊債券（除く金融債）	200,000	203,192	2.1	－	2.1	－	－
	(　200,000)	(　203,192)	(2.1)	(－)	(2.1)	(　－)	(　－)
普通社債券（含む投資法人債券）	700,000	681,158	7.0	－	1.0	4.0	2.0
	(　700,000)	(　681,158)	(7.0)	(－)	(1.0)	(4.0)	(2.0)
合計	10,519,000	9,595,562	99.0	－	66.4	18.8	13.8
	(1,350,000)	(1,325,336)	(13.6)	(－)	(4.6)	(5.0)	(4.1)

（注１）（ ）内は非上場債で内書きです。
（注２）組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
（注３）単位未満は切り捨て。
（注４）－印は組み入れなし。
（注５）評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

（B）国内（邦貨建）公社債　銘柄別開示

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第147回利付国債（５年）	0.005	180,000	178,795	2026/３/20
第148回利付国債（５年）	0.005	300,000	297,282	2026/６/20
第150回利付国債（５年）	0.005	120,000	118,340	2026/12/20
第163回利付国債（５年）	0.4	100,000	98,129	2028/９/20
第173回利付国債（５年）	0.6	110,000	107,944	2029/９/20
第９回利付国債（40年）	0.4	210,000	119,170	2056/３/20
第343回利付国債（10年）	0.1	350,000	347,256	2026/６/20
第346回利付国債（10年）	0.1	120,000	118,298	2027/３/20
第349回利付国債（10年）	0.1	150,000	146,845	2027/12/20
第352回利付国債（10年）	0.1	190,000	184,455	2028/９/20
第357回利付国債（10年）	0.1	100,000	95,661	2029/12/20
第358回利付国債（10年）	0.1	200,000	190,760	2030/３/20
第359回利付国債（10年）	0.1	89,000	84,651	2030/６/20
第360回利付国債（10年）	0.1	360,000	341,442	2030/９/20
第361回利付国債（10年）	0.1	370,000	349,931	2030/12/20
第362回利付国債（10年）	0.1	350,000	330,071	2031/３/20

しんきん国内債券マザーファンド －第23期－

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債（10年）	0.1	340,000	319,603	2031/6/20
第364回利付国債（10年）	0.1	210,000	196,751	2031/9/20
第370回利付国債（10年）	0.5	180,000	170,069	2033/3/20
第373回利付国債（10年）	0.6	180,000	169,650	2033/12/20
第25回利付国債（30年）	2.3	160,000	172,656	2036/12/20
第49回利付国債（30年）	1.4	190,000	168,311	2045/12/20
第50回利付国債（30年）	0.8	150,000	117,262	2046/3/20
第51回利付国債（30年）	0.3	100,000	69,281	2046/6/20
第55回利付国債（30年）	0.8	210,000	160,614	2047/6/20
第66回利付国債（30年）	0.4	100,000	65,294	2050/3/20
第69回利付国債（30年）	0.7	120,000	83,823	2050/12/20
第70回利付国債（30年）	0.7	230,000	159,781	2051/3/20
第71回利付国債（30年）	0.7	200,000	138,170	2051/6/20
第72回利付国債（30年）	0.7	110,000	75,628	2051/9/20
第75回利付国債（30年）	1.3	100,000	79,882	2052/6/20
第95回利付国債（20年）	2.3	50,000	51,673	2027/6/20
第98回利付国債（20年）	2.1	50,000	51,578	2027/9/20
第103回利付国債（20年）	2.3	150,000	156,771	2028/6/20
第110回利付国債（20年）	2.1	50,000	52,218	2029/3/20
第113回利付国債（20年）	2.1	50,000	52,392	2029/9/20
第114回利付国債（20年）	2.1	210,000	220,422	2029/12/20
第120回利付国債（20年）	1.6	50,000	51,405	2030/6/20
第134回利付国債（20年）	1.8	200,000	209,082	2032/3/20
第147回利付国債（20年）	1.6	120,000	123,036	2033/12/20
第151回利付国債（20年）	1.2	240,000	235,761	2034/12/20
第155回利付国債（20年）	1.0	210,000	199,964	2035/12/20
第156回利付国債（20年）	0.4	200,000	177,640	2036/3/20
第158回利付国債（20年）	0.5	140,000	124,623	2036/9/20
第161回利付国債（20年）	0.6	250,000	222,145	2037/6/20
第169回利付国債（20年）	0.3	150,000	122,673	2039/6/20
第172回利付国債（20年）	0.4	220,000	179,707	2040/3/20
第177回利付国債（20年）	0.4	300,000	237,936	2041/6/20
第178回利付国債（20年）	0.5	200,000	160,504	2041/9/20
第181回利付国債（20年）	0.9	330,000	279,932	2042/6/20
第182回利付国債（20年）	1.1	120,000	104,948	2042/9/20
小計		9,169,000	8,270,226	
地方債証券				
第756回東京都公募公債	0.05	100,000	99,012	2026/6/19
第857回東京都公募公債	1.152	150,000	145,767	2034/9/20
平成30年度第１回埼玉県公募公債	0.175	100,000	97,478	2028/4/18
平成28年度第６回福岡県公募公債	0.175	100,000	98,729	2026/12/22
小計		450,000	440,986	
特殊債券(除く金融債)				
第230回政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.338	100,000	98,886	2034/10/31
第75回日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.96	100,000	104,306	2031/9/19
小計		200,000	203,192	

しんきん国内債券マザーファンド －第23期－

銘柄	当期末			
	利率	額面金額	評価額	償還年月日
普通社債券(含む投資法人債券)	%	千円	千円	
第19回キリンホールディングス株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.09	100,000	98,960	2026/6/3
第13回日本たばこ産業株式会社社債（一般担保付）	0.355	100,000	96,917	2028/9/8
第2回三菱ケミカルグループ株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	1.18	100,000	95,910	2033/3/15
第3回大塚ホールディングス株式会社無担保社債(社債間限定同順位特約付)	0.375	100,000	96,402	2029/3/7
第14回株式会社ブリヂストン無担保社債	0.375	100,000	96,226	2029/4/19
第15回株式会社デンソー無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.245	100,000	98,143	2027/6/18
第38回三菱重工業株式会社無担保社債（社債間限定同順位特約付）	0.09	100,000	98,600	2026/9/1
小計		700,000	681,158	
合計		10,519,000	9,595,562	

(注) 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年３月３日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
公社債	9,595,562	97.3
コール・ローン等、その他	268,779	2.7
投資信託財産総額	9,864,341	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月3日現在)

項目	当期末
	円
(A) 資産	9,864,341,397
コール・ローン等	171,890,593
公社債(評価額)	9,595,562,160
未収入金	79,462,400
未収利息	17,315,943
前払費用	110,301
(B) 負債	169,451,400
未払金	169,451,400
(C) 純資産総額(A－B)	9,694,889,997
元本	7,875,096,632
次期繰越損益金	1,819,793,365
(D) 受益権総口数	7,875,096,632口
1万口当たり基準価額(C／D)	12,311円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は7,711,286,564円、期中追加設定元本額は820,457,337円、期中一部解約元本額は656,647,269円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額

しんきん日米バランスファンド(適格機関投資家限定)	3,366,739,456円
しんきん国内債券スペシャル(適格機関投資家限定)	1,738,912,053円
しんきん日米バランスファンド(分配抑制)(適格機関投資家限定)	1,008,265,118円
しんきん国内債券ファンド	627,518,197円
しんきん日米5資産分散ファンド21－11(適格機関投資家限定)	582,636,188円
しんきん日米5資産分散ファンド20－07(適格機関投資家限定)	539,815,784円
しんきんバランスファンド株25VA(適格機関投資家限定)	5,638,276円
しんきんバランスファンド株50VA(適格機関投資家限定)	5,571,560円

(注3) 1口当たり純資産額は1.2311円です。

○損益の状況 (2024年3月5日～2025年3月3日)

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	58,549,499
受取利息	58,554,006
支払利息	△ 4,507
(B) 有価証券売買損益	△ 463,131,010
売買損	△ 463,131,010
(C) 保管費用等	△ 879
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 404,582,390
(E) 前期繰越損益金	2,187,555,823
(F) 追加信託差損益金	209,772,663
(G) 解約差損益金	△ 172,952,731
(H) 計(D＋E＋F＋G)	1,819,793,365
次期繰越損益金(H)	1,819,793,365

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。